



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6615 URL <https://www.umc.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大年 浩太
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経理部 部長 (氏名) 千葉 成晃 (TEL) 048-724-0001
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	66,808	△17.7	543	△56.4	△45	—	△343	—
2023年3月期第2四半期	81,209	22.5	1,246	132.6	493	10.6	280	5.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 227百万円(△72.9%) 2023年3月期第2四半期 839百万円(99.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△12.15	—
2023年3月期第2四半期	9.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	83,008	18,237	21.9
2023年3月期	84,785	18,010	21.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 18,197百万円 2023年3月期 17,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年3月期の配当金額については未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	△19.0	1,500	△32.5	800	△32.2	300	△52.9	10.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	28,277,620株	2023年3月期	28,277,620株
2024年3月期2Q	86株	2023年3月期	86株
2024年3月期2Q	28,277,534株	2023年3月期2Q	28,277,549株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、コロナ禍の活動制限解消やインバウンド需要の復調による個人消費の回復、及び部材不足の緩和による製造業の景況の持ち直しはあるものの、依然としてエネルギー価格及び資源価格の高止まりが継続しており、世界的な金融引き締め、高インフレ、更なる物価高への懸念は根強く、加えて中国経済の先行きが懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は668億8百万円(前年同期比17.7%減)となりました。損益面においては、営業利益は5億43百万円(前年同期比56.4%減)となりました。経常損益は米国金利上昇に伴う支払利息の増加及び一時的な賃貸費用の発生により45百万円の損失(前年同期は4億93百万円の経常利益)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は3億43百万円の損失(前年同期は2億80百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

当社グループは、EMS事業とその他の事業を営んでおりますが、ほとんどがEMS事業のため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、EMS事業の製品分野別の売上高とその他の事業の売上高は以下のとおりであります。売上高の金額については、連結相殺消去後の数値を記載しております。

① EMS事業

当社グループの主たる事業であるEMS事業の売上高は664億33百万円(前年同期比17.8%減)となりました。製品分野別の業績の概況は次のとおりであります。

(車載機器)

電動自動車市場の拡大による需要増の状況は継続しているものの、車載向け電子部品の逼迫影響があり、また一部顧客との取引について第1四半期連結会計期間より代理人取引として収益を純額で計上したことにより、売上高は370億85百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

(産業機器)

中国のロックダウン影響の解消により生産が正常化したことに加え、省エネルギー投資も継続しているものの、制御機器製品の中国市場における不調により、売上高は130億4百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

(OA機器)

在宅需要による増産の反動に起因する複合機やレーザープリンタ向け製品の取扱高の減少、及び市場での在庫水準の高止まりに伴う影響を受け、売上高は160億12百万円(前年同期比29.1%減)となりました。

(その他)

コンシューマー製品とアミューズメント向け開発が主な事業内容になり、売上高は3億31百万円(前年同期比43.8%減)となりました。

② その他の事業

人材派遣業の売上高は3億75百万円(前年同期比9.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は830億8百万円(前連結会計年度末比17億77百万円減少)となりました。これは主に、有形固定資産が増加した一方で、棚卸資産が減少したことによるものであります。

負債につきましては、647億70百万円(前連結会計年度末比20億4百万円減少)となりました。これは主に、長期借入金が増加した一方で、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、182億37百万円(前連結会計年度末比2億27百万円増加)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少の一方で、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ13億60百万円増加し、111億10百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、66億55百万円の収入となりました。これは主に棚卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、27億98百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、28億38百万円の支出となりました。これは主に短期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日付で「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますのでご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,749	11,110
受取手形、売掛金及び契約資産	16,971	15,177
製品	2,806	2,703
仕掛品	596	497
原材料及び貯蔵品	23,859	20,190
未収入金	952	833
未収消費税等	1,765	1,034
その他	2,333	3,181
流動資産合計	59,036	54,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,950	7,199
機械装置及び運搬具（純額）	7,182	7,187
その他（純額）	3,496	5,806
有形固定資産合計	17,629	20,193
無形固定資産	197	280
投資その他の資産	7,921	7,805
固定資産合計	25,749	28,279
資産合計	84,785	83,008
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,076	19,970
短期借入金	24,613	21,988
1年内返済予定の長期借入金	1,487	1,730
未払法人税等	444	442
賞与引当金	655	933
その他	5,378	5,752
流動負債合計	53,655	50,818
固定負債		
長期借入金	11,350	12,088
退職給付に係る負債	848	840
繰延税金負債	101	111
その他	819	912
固定負債合計	13,119	13,952
負債合計	66,775	64,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,729	4,729
資本剰余金	10,484	5,784
利益剰余金	2,124	6,481
自己株式	△0	△0
株主資本合計	17,338	16,994
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	633	1,200
退職給付に係る調整累計額	△2	1
その他の包括利益累計額合計	630	1,202
新株予約権	29	29
非支配株主持分	11	11
純資産合計	18,010	18,237
負債純資産合計	84,785	83,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	81,209	66,808
売上原価	76,933	63,558
売上総利益	4,276	3,250
販売費及び一般管理費	3,029	2,707
営業利益	1,246	543
営業外収益		
受取利息	21	49
受取配当金	1	1
受取地代家賃	605	612
為替差益	—	15
その他	166	56
営業外収益合計	794	734
営業外費用		
支払利息	235	497
賃貸費用	432	704
為替差損	838	—
その他	40	120
営業外費用合計	1,547	1,323
経常利益又は経常損失(△)	493	△45
特別利益		
固定資産売却益	48	0
特別利益合計	48	0
特別損失		
固定資産除却損	16	11
固定資産売却損	8	6
減損損失	6	—
特別退職金	—	45
特別損失合計	31	64
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	511	△109
法人税等	232	234
四半期純利益又は四半期純損失(△)	278	△343
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	280	△343

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	278	△343
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	558	567
退職給付に係る調整額	2	4
その他の包括利益合計	560	571
四半期包括利益	839	227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	841	228
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	511	△109
減価償却費	1,614	1,529
減損損失	6	—
のれん償却額	17	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	240	250
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△13	△9
受取利息及び受取配当金	△22	△50
支払利息	235	497
為替差損益(△は益)	423	△618
固定資産売却損益(△は益)	△40	6
固定資産除却損	16	11
売上債権の増減額(△は増加)	△1,214	2,802
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,972	5,798
仕入債務の増減額(△は減少)	1,439	△2,603
未収入金の増減額(△は増加)	△166	176
未払金の増減額(△は減少)	29	△277
その他	△142	△28
小計	960	7,385
利息及び配当金の受取額	26	50
利息の支払額	△239	△491
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△135	△288
営業活動によるキャッシュ・フロー	612	6,655
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,536	△2,532
無形固定資産の取得による支出	△43	△114
有形固定資産の売却による収入	89	8
投資有価証券の売却による収入	7	4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△31	—
投資不動産の取得による支出	△5,253	△37
その他	△159	△127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,927	△2,798
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	7,500	1,700
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,467	△3,777
長期借入金の返済による支出	△954	△718
自己株式の取得による支出	△0	—
リース債務の返済による支出	△106	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,906	△2,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	269	341
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,860	1,360
現金及び現金同等物の期首残高	7,933	9,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,793	11,110

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、EMS事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。